

感染防止策チェックリスト

【第3版（令和4年9月版）】

開催概要

イベント名

ノンバーバル（非言語）で表現しよう！パントマイムワークショップ
(<http://www.ffac.or.jp/ketchskech/>)

出演者・
チーム等

ケッチ

開催日時

令和4年10月29日 13:00~15:00/16:30~18:30
令和4年10月30日 11:00~13:00/14:30~16:30

開催会場

10月29日（土）パピオビールーム・大練習室
10月30日（日）福岡市美術館アートスタジオ

会場所在地

パピオビールーム：博多区博多区千代1丁目15-30
福岡市美術館アートスタジオ：福岡市中央区大濠公園1-6

主催者

（公財）福岡市文化芸術振興財団

主催者所在地

福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8F

主催者連絡先

（電話番号）
092-263-6265

（メールアドレス）
Ffac-02@ffac.or.jp

収容率
（上限）

いずれかを
選択

大声なしで開催

①収容定員あり
100%

②収容定員なし
人と人が触れ合わない程度の間隔

大声ありで開催

③収容定員あり
50%

④収容定員なし
十分な人と人との距離（最低1m）

「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催

⑤収容定員あり
大声なしのエリア：100%
大声ありのエリア：50%

⑥収容定員なし
大声なしのエリア：
人と人が触れ合わない程度の間隔
大声ありのエリア：
十分な人と人との距離（最低1m）

収容定員

パピオ：300人（注）
市美アートスタジオ：72人

—

参加人数

1クラス：最大40人（4回）（注）

その他
特記事項

パントマイム（身体表現）ワークショップのため

（※）大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

（注）収容率（上限）において、⑤を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

感染防止策チェックリスト

【第3版（令和4年9月版）】

基本的な 感染防止

1. イベント参加者の感染対策 (1) 感染経路に応じた感染対策

① 飛沫感染 対策

- ☑ 適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底
 - ☑ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保
- （※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。
- 「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、
- ☐ ~~大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保~~
 - ☐ ~~大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施~~

② エアロゾ ル感染対策

- ☑ 機械換気による常時換気又は窓開け換気
- ☑ 適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】
- ☑ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

③ 接触感染 対策

- ☑ イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
- ☑ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

感染防止策チェックリスト

【第3版（令和4年9月版）】

基本的な 感染防止

1. イベント参加者の感染対策 (2) その他の感染対策

④ 飲食時の 感染対策

- 前項（1）感染経路に応じた感染対策と併せて、~~飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）~~の徹底の周知 **※飲食無し**

⑤ イベント 前の感染対 策

- 発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ

⑥ 感染拡大 対策

- イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦ 出演者や スタッフの 感染対策

- 出演者やスタッフによる、練習時・本番等における前項（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施
- 舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施